

平成22年度

第4回

in奈良

近畿「子どもの水辺」交流会

奈良でひろげよう！水辺の“わ”

開催結果報告

近畿管内の各府県の小中学生等が、学校や地域で取り組んでいる身近な水辺で見つけたこと、調べたこと、日頃取り組んでいる水辺づくりの活動などを熱い想いを込めて発表しました。

近畿「子どもの水辺」交流会は、近畿府県にて小中学生等が学校や地域で取り組んでいる水辺活動や調査等を発信してもらい、「水辺」への関心・愛着の向上、子どもたちの水辺活動の継続・広がりを図るとともに、上下流・府県間など「水辺」に関わる方々の交流を深めていただき、共に作り、守り、育てる「水辺づくり」を目指しています。



主催／近畿「子どもの水辺」交流会実行委員会

(近畿府県の水辺活動団体等、近畿地方整備局、近畿各府県、河川環境管理財団、近畿建設協会)

後援／北陸・東海・近畿農政局、近畿地方環境事務所、近畿各府県教育委員会、近畿各政令市、

近畿各政令市教育委員会、琵琶湖・淀川流域圏再生推進協議会、琵琶湖・淀川流域圏連携交流会

○近畿「子どもの水辺」交流会は財団法人河川環境管理財団の河川整備基金の助成を受けています。

第1部

開会式・参加者紹介

●ようこそ奈良へ！

オープニングは、明日香の響保存会による「八雲琴」の演奏

やくもごと



実行委員会会長谷幸三さんの開会宣言後、奈良県の窪田副知事から歓迎の挨拶がありました。

その後、「明日香の響保存会」の明日香小学校の6年生と聖徳中学校の2年生のみなさんが「八雲琴」で古代万葉の心、あすかの響きを奏でてくれました。

八雲琴は、二絃琴（にげんきん）とも言い、その起源は古く古事記の時代までさかのぼるとされます。

古都奈良のオープニングにふさわしい、雅な琴の音色が会場に響き渡り、第4回近畿「子どもの水辺」交流会の幕が開けられました。

演奏の後には「せんとかん」も登場し会場を盛り上げました。



●近畿各地から集まった、「水辺」の仲間を紹介

近畿各地から参加してくれた31の学校や団体が奈良県文化会館の国際ホールに集まり、参加者全員の前で、いつも活動している「水辺」や一緒に活動している仲間、活動の内容などについて紹介されました。

スクリーンには、参加してくれたみんなの「活動している水辺」や「活動している仲間」の写真が映されました。

これから交流する近畿各地の知らない地域から参加してくれた「水辺」の仲間の紹介を、みんな緊張しながらも興味深く聞いていました。



●参加してくれたみんなに開催地奈良県を紹介

実行委員会の谷会長から、今年の開催地である「奈良県の世界遺産・自然と水辺の生き物」が紹介されました。

少しずつ緊張も和らぎ、みんな楽しく紹介に聞き入っていました。



●交流会の流れについて説明を聞きました

第3部の全体交流会で、ファシリテーターを務める中村大輔さんから、交流会全体の流れについての説明と第2部での以下の「指令」が出され、第1部の幕を閉じました。

- 鳥のポスターを完成させよ。（みんなの活動を貼付けた）
- みんなに紹介したい「2つのおすすめ活動」を決めよ。
- 無人島生活（1ヶ月）をするなら、何を持っていか、話し合って3つ決めよ。

いよいよ交流会のスタートです。



第2部 グループ別交流会

6つのグループに分かれて、グループ別交流会を行いました。各コーディネーターの進行で、それぞれ工夫してまとめたポスターを使って、日頃の水辺での活動を発表してくれました。中には劇やクイズを取り入れたり、人形などを使った発表もありました。

また、鳥のポスターに自分たちが実践している(したい)活動を貼付けて完成させました。その中から「グループのおすすめ活動」について話し合い、2つを選び「大きな鳥の羽」を完成させました。



グループA

●コーディネーター：川波 太さん
(NPO法人 環境市民ネットワーク天理)

- ①木津川管内河川レンジャー親子川の学校参加者有志(京都府)
「楽しかったよ、親子川の学校!! きれいな木津川をとりもどしたい!!」
- ②高島市立マキノ東小学校(滋賀県)
「チャレンジ!琵琶湖西岸カヌー漕破 ~ふるさとの自然と母なる琵琶湖に学ぶ旅~」
- ③川とあそぼう大和川クラブ(大阪府)
「あそべる大和川めざして、元気に活動」
- ④奈良市立鶴舞小学校(奈良県)
「秋篠川に学ぶ」
- ⑤三田市立武庫小学校(兵庫県)
「ピオトーブづくり活動を通して感じたこと」



グループD

●コーディネーター：谷 幸三さん
(大阪産業大学 人間環境学部)

- ①アイキッズ~エコアイデアキッズびわ湖~(滋賀県)
「水のつながり・いのちのつながりについて考える」
- ②明日香村立聖徳中学校(奈良県)
「生物で調べた飛鳥川の自然」
- ③NPO法人 子どもと川とまちのフォーラム(京都府)
「川の体験で感じたこと」
- ④アシレンジャー(兵庫県)
「芦屋の自然を守り・自然に学ぶ」
- ⑤TANAKAMIこども環境クラブ(滋賀県)
「天神川のポニョ~田上への招待状~」



グループB

●コーディネーター：大脇 巧己さん
(NPO法人 さんびいす)

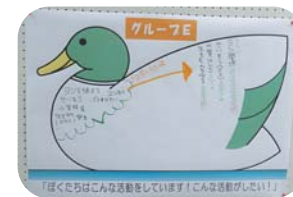
- ①たつの市立小宅小学校 環境クラブ(兵庫県)
「人も自然も笑顔いっぱい おいでよ 私たちの自然大好き村へ」
- ②石川こども自然隊(大阪府)
「石川の自然 見つけたよ 遊んだよ... 輝く顔」
- ③水のかけ橋エコクラブ(滋賀県)
「日韓子ども交流~びわ湖からのメッセージ~」
- ④橿原市立光陽中学校 理科クラブ(奈良県)
「人工の川を再生する試み」
- ⑤西京極児童館自然探検隊2004(京都府)
「いろいろ発見! 水辺には生き物がいっぱい」



グループE

●コーディネーター：井阪 尚司さん
(NPO 水のかけ橋JAPAN)

- ①桜谷エコクラブ(滋賀県)
「田や川は命のゆりかご」
- ②堺市立神石小学校 理科・栽培委員会(大阪府)
「親しめる石津川」
- ③福田川クリーンクラブ(兵庫県)
「なぜ福田川の魚は死んだのか」
- ④橿原市立畝傍中学校 科学部(奈良県)
「飛鳥川再生プロジェクト~人と自然・地域をつなぐ飛鳥川」
- ⑤ホテルの学校~大津市千丈川~(滋賀県)
「ホテルや生きものたちがいっぱい! 千丈川はみんなの宝の川」
- ⑥京都市立第四錦林小学校(京都府)
「第四錦林小学校は、校区の西側に鴨川が流れています」



グループC

●コーディネーター：安田 勝さん
(京都府 山城南土木事務所)

- ①池田市立秦野小学校(大阪府)
「今年で8年目に入りました! 私たちのピオトーブ学習!」
- ②京都市立静原小学校(京都府)
「静原川の水をきれいにしよう」
- ③福田川探検隊(兵庫県)
「水のやさしさ怖さを学ぶ探検」
- ④御所市立葛中学校 しぜん部(奈良県)
「曽我川(大和川水系・奈良県最南部の支流)」
- ⑤NPO法人 蒲生野考現倶楽部(滋賀県)
「蒲生野考現倶楽部わくわく体験隊の半年」



グループF

●コーディネーター：
橋本 夏次さん(近木川流域自然大学研究会)
古荘 貴幸さん(大阪府 都市整備部 河川室 河川環境課)

- ①亀岡市地球環境子ども村自然活動SPキッズクラブ(京都府)
「私達のまちの宝物(保津川に住んでいる2つの天然記念物)」
- ②貝塚市立南小学校 かわっぴクラブ(大阪府)
「このまちだいすき! みんなで進める 近木川見出川遊緑地計画」
- ③自然と文化の森協会・猪名川キッズクラブ(兵庫県)
「猪名川・藻川からのすてきなおくり物」
- ④天理小学校(奈良県)
「布留川ってどんな川」
- ⑤山内エコクラブ(滋賀県)
「源流の水文化を狂言で伝えよう」

